

# ウッドバーニング

都立総合工科高等学校

## 作品説明

ウッドバーニングは、木材に電熱機器を用いて木材を焦がすことにより文字やイラストなどを表示するものです。3学年の選択授業や中学生体験入学で行っています。製図と異なり、定規は用いずフリーハンドで行います。手作り感があり、オリジナリティーが一番です。2学年で透視図・パースなどを行っているため上級者の生徒は下図のような作品（吉村順三設計、軽井沢の山荘）も制作しています。

木材の種類や木目により仕上がりがことなり、どの材料を選ぶか経験も大切になります。本校では、木材を使用する授業が数多くありますが、余り材などは処分することが多いです。それを少しでも減らすためにSDGsとして余り材をウッドバーニングに使用しています。

